

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゆ〜す」 検索

8月1日(土) 「観音の里めぐりツアー」全国で優秀賞獲得

北びわこふるさと観光公社が企画したツアー「びわ湖・長浜 観音の里めぐり」が、第5回地旅大賞で優秀賞を獲得しました。湖北地域の観音さまをバスで巡るこのツアー、普段はなかなかお会いできない観音さまにも会えるという企画です。地域限定旅行業の会社が優秀賞を受賞するのは、全国初の快挙。受賞のポイントは、企画そのものの良さもさることながら、地域の活性化にもつながっていると評価されました。



8月2日(日) 観音さまをご縁に高月を盛り上げよう

観音像が守り継がれるまちをPRして盛り上げようと「観音の里 ぶらぶらまつり」が出会いの森で開かれました。ヨーヨーすくいや射的など、およそ30の模擬店が軒を連ねた門前市、次々に歌や出し物が披露されるステージなどが用意され、会場は大いに盛り上がりました。観音さまを巡る巡回バスや、高月・木之本地域を観光する周遊バスも運行され、訪れた人たちは、観音文化を肌で感じると同時に、夏のひと時を楽しんでいました。



8月5日(水) 大輪の花 色鮮やかに湖面を彩る

長浜の夏の風物詩「長浜・北びわ湖大花火大会」が長浜港一帯で開催され、スターマインを中心に約1万発が夜空に打ち上げられました。カウントダウン花火や芸術花火、音楽に合わせて打ち上げるミュージックスターマインなど、多彩な花火が次々と打ち上げられ、約11万人の観客がその迫力と美しさに酔いしれました。



8月5日(水)、6日(木) 地域と大学、高校が連携 地域課題を映画に!

地域コミュニティや建築などを学ぶ慶應義塾大学の学生が、虎姫高校、田根地区・地域づくり協議会とともに、田根地区の地域課題である「過疎」を題材にした映画を製作しました。その名も「KASO NOTE」。脚本や演出は大学生が手がけ、高校生は出演と撮影を担当しました。虎姫高校では、この活動を2年生のサマーセミナーと位置づけており、希望する生徒13人が参加。「普段できない経験や、いいつながりができました」と充実した表情でした。

出会いの扉

このコーナーでは、市内で活動している団体・サークルを紹介します。広報紙でPRして活動の輪を広げ、仲間を増やしてみませんか。掲載希望は市民広報課まで（☎65-6504）。※営利や宗教・政治・選挙を目的とするもの、限られた地区の住民が参加する活動や団体などは掲載できません。

団体名 うたごえサークル キララ

〈代表〉清水 泰子さん(☎090-1894-4249)

活動場所 市民交流センター(地福寺町)

活動日時 毎月第1日曜日 13時~15時



活動PR

音楽好きの仲間が集まって始めた「うたごえ会」。12年を経た今では、毎月1回市民交流センターに100人前後が集い、ピアノ、ヴァイオリンの生演奏で、母から教わった童謡や、学校で習った唱歌、ラジオから流れていた思い出の歌等、後世に残したい歌の数々を参加者全員で歌います。生きがいがづくり、友達づくりの場としても、皆さんのご参加をお待ちしています。

8月9日(日) 炎天下にシャグマが揺れました

余呉町下余呉の乎彌(おみ)神社で、下余呉太鼓踊りが開催されました。直径1mの親太鼓の周囲を小太鼓とシャグマ(尾長鳥の羽の被り物)をつけた踊り子が舞うのが特徴です。

少子化が進み、このままでの存続が困難になる中、今年は31人の子どもたちが参加。早い子は5月から週3回ほどの練習を重ねて当日を迎えました。朝早くから化粧や着付けをして、炎天下で最後まで立派に舞い遂げました。



8月16日(日) 琵琶湖の大自然を感じながら

琵琶湖を会場にした水泳競技「琵琶湖・長浜オープンウォータースイムレース」が南浜水泳場で開催されました。

全国各地から、過去最大規模となる600人あまりの選手がエントリーし、500m、1km、3.2kmの個人3種目と、2kmを4人でつなぐリレー種目が行われました。

ゴールした選手を、すべての人が大きな笑顔と拍手で称え、会場が感動に包まれました。

